

ダイアログの場のつくり方

使えるワーク その2

ダイアログの場のつくり方シリーズ6回目の今回は、僕がダイアログの場をつくる時に活用するワーク紹介の続きをします。

ワークショップというスタイルの場をつくるにあたって、その名の通りワークはとても重要な存在です。ワークを行うことで感じたことを言葉にし、それを共有し合うことでまた学びを得る。なので、同じテーマでも人によって受けとるものが変わってきます。

ダイアログをするこもひとつのワークであり、僕をつくる場のほとんどはダイアログをメインのワークにしたものが多く、色んなワークを組み込んだ場をあまりつくることがありません。その中でよく僕が活用しているワークのやり方とポイントを踏まえながら、今回も投稿を行っていきます。

仲間とダイアログしながら学び合う、そんな環境をつくりたい人が1歩を踏み出せる、この資料がそんなきっかけになれば嬉しいです。

ブレインストーミング

そのまま訳すと「脳の嵐」で、たくさんのアイデアを嵐のように生み出すためのワークです。テーマに合わせてたくさんのアイデアを生み出すのですが、僕がよくやるのは、「ポストイット1枚につきひとつのアイデアを書いてもらうとして、

2分で何枚書けますか？」と場に訊きます。「1枚5秒として、20枚くらいはいけるかな...」って帰ってきた回答をベースにゲーム形式で最初に行ない、2分後に枚数の確認をして一番多い人に拍手をします。

それから「判断を保留すること」を場に伝え、「できる・できない」「いい・わるい」などの判断をせずに、頭に浮かんだアイデアを書き出してください、と再度2分程度で書き出してもらいます。

たくさん出すためと言っても集中力の限界よりも手前の時間設定で行ってください。反対に、頭の中が嵐になる時間も必要ですので、短すぎず長過ぎない時間をもとめて自分でやってみてください。

このワークの目的はたくさんアイデアを生み出すことなので、ひとりでもできる作業なのですが、グループでテーブルにたくさんアイデアを生み出すこと、それをその後、選択肢としてダイアログし、具体的なアイデアを生み出すきっかけに使います。

なので、このワークの前後どちらかにテーマを具体的に共有する時間が必要です。事前でも事後でも、それは全体の流れによります。テーマが具体的に共有された状態でアイデアを出し収束していくのか、アイデアを出した後に収束する基準を具体的に決めるか、そこは全体の流れ、メンバーなど、その場の状況で調整してみてください。

バズセッション

バズとは、巣のまわりをブンブン飛びまわるハチの音で、少人数にわけてそのようにワイワイガヤガヤ話すワークのことを指します。このワークはもともと、6名で6分間の議論をするのですが、僕は2～3人で行うことが多いです。

何かの情報が入った後などに周辺の2～3人でグループにして、それぞれが感じたことを言葉にしてもらいます。2～3人だと短時間でも言葉を発する機会が生まれ、入った情報を自分で言葉にしながら整理することができるので。

もしくは、大勢が特にグループなく自由に座っている状態のワークショップなどが始まってすぐの頃、場に馴染んでもらうためにまず、2～3人で少し話をしてもらうこともあります。最初の段階で声を出すのと出さないのでは、場への関わりが全然違います。

僕は基本的に、問いづくり、ダイアログ、ふり返りという3部構成の流れをベースに場をつくり、それに必要なワークを選んで場をつくっています。世の中にはたくさんワークが生まれているのですが、目的、ゴールをどこに置くのかの方が大切だと思っているので、それによって必要なワークが見えてくるので、僕をつくる場ではダイアログというワークをメインとして、ほとんど活用されません。

反対にワークありきの場もいいと思います。実際に活用してみないと、どんな準備が必要なのか、どんな過程で進むのか、どんな結果につながるのか、なにがそのワークのポイントなのかと、やってみないとわからないことも多いので、仲間うちで研究し合うというのもいいでしょう。

こういう風に文章にしていると、僕をつくる場では、疲れるのでたくさんワークをやらないし、たくさん技は活用していないのが自分のスタイルなのだと再確認させてもらえました。

前回、今回の使えるワークという切り口はあくまで僕の見解ですが、何にしても良い面もあれば悪い面もあるので、ぜひいろいろと体験されることをお勧めします。そしてそのワークでの体験が、その場、ワークショップでどんな広がりを見せるのか、その結果をコントロールするのではなく、信頼してその場を促していただければ、想像もつかなかった結果が生まれる可能性がぐんと高まるはずです。

今回は「使えるワーク その2」のお話をしました。次回は続きとして「立ち位置」のお話をします。

今回の内容に関して「こんな風に活用してみた」とか、「もっと具体的なことが聴きたい」とか、もしくは今回の内容で感じたことがあれば、「みんなのダイアログ」に投稿してください。

そこで学び合いながらダイアログしていきましょう。

みんなのダイアログ

<http://cobaken.net/webdialog/index.php?qa>